



2025年度第4回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時：2025年10月5日（日）13:00～17:10

開催場所：静岡県栄養士会事務局およびWeb

出席役員

○出席 ×欠席 ○W WEB出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		フ栄			
氏名	新井	久保田	若林	小栗	大塚	平塚	稲葉	篠原	小川	池谷	森下	白石	青島
出席	○	○	○	○	○	○	○	○	○W	○W	○W	○	○W
職域事業部	フ栄			医療						福祉			
氏名	栗原	山崎	杉山清	太田	渡邊美	渡邊潤	中村	菊地	八木	田森	杉山智	松井	
出席	×	○W	○W	○W	○W	○	○	○	×	○	○	○	
監事	水嶋	鈴木											
出席	○W	×											

開会

定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うちWEB参加9名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、会場に来ることが出来ない理事はZOOM（WEB会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議長

定款第30条第1項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、学校健康教育事業部の大塚理事と公衆衛生事業部の平塚理事が指名された。

1. 会長あいさつ

東海北陸会長会議にて、日本栄養士会の中村会長が出席され、挨拶にて「会員増対策が機能している県とそうでない県、ともに存在し、後者は各県栄の執行部の努力が不足しているのではないかと」と叱咤激励のコメントを頂きました。その意見に対して、私自身も数か月前より自らの求心力のなさや、指示が不適切であったのではないかと強く感じていました。そこで、課題の抽出や未来に向けての方向性、さらには会としての一体感を持つ必要を感じ、前回の理事会以降、各職域と代表理事との間で、ヒアリングをさせていただきました。個人的には、実りある意見交換をさせていただき、さらには新しい気づきや取り組みといった発想に繋がる貴重な場となりました。ご多忙の中、ご対応いただき心より感謝申し上げます。次年度は役員改選ということで、交代される理事もおられますが、事業の計画ならびに職域としての体制整備を今一度ご検討いただき、結束力のある会として運営していけますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2. 前回議事録の確認

第3回理事会議事録(案)

全会一致で承認された。

3. 代表理事の業務報告

(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項)

3.1. 新井会長

7月15日(火)	静岡市静岡医師会定例会議	静岡市静岡医師会館
7月16日(水)	三島市医師会会長と面談(ケアステ推進のご相談)	宮内まこと記念クリニック
7月21日(月)	静栄DAT研修会	クリエート浜松
7月21日(月)	浜松市白梅ケアホーム施設長と面談(ケアステ推進のご相談)	認定栄養ケア・ステーションちよぼ会議室
8月3日(日)	第2回県民栄養フォーラム	キラメッセぬまづ
8月7日(木)	臨時東海北陸会長会議	WEB
8月21日(木)	学校健康教育事業部ヒアリング	WEB
8月26日(火)	介護予防推進指導者育成研修会 講師への挨拶	WEB
8月26日(火)	シズケアサポート会議	静岡県医師会
8月27日(水)	静岡県健康増進計画推進協議会	静岡県庁

る県
宅激
が不
らに
をさ
り組
す。
体制
上げ

8月27日（水）	公衆衛生事業部ヒアリング	WEB
8月29日（金）	福祉事業部ヒアリング	WEB
8月30日（土）～ 31日（日）	東海北陸会長等会議	ホテルグランテラス富山
9月1日（月）	介護予防推進指導者育成研修会 事前打合せ	WEB
9月17日（水）	静岡県食育推進協議会	静岡県庁
9月20日（土）	かみかわ陽子チーム後援会のつどい	ホテルアソシア
9月22日（月）	研究教育事業部ヒアリング	WEB
9月25日（木）	葵東クリニック院長と面談（ケアステ推進のご相談）	葵東クリニック
9月27日（土）	西ブロック地区研修会	浜松福祉交流センター
9月29日（月）	医療事業部ヒアリング	WEB
9月30日（火）	フリーランス・栄養関連企業等事業部ヒアリング	WEB
10月2日（木）	三役会議	WEB

3.2. 久保田副会長

7月15日（火）	静岡市静岡医師会定例会議	静岡市静岡医師会館
7月21日（月）	静栄DAT研修会	クリエイト浜松
7月24日（木）	浜松川島医師と面談（ケアステ推進のご相談）	ひかり在宅医療クリニック浜松本院
7月26日（土）	清庵地区研修会	清水辻公民館
7月29日（火）	第1回静岡市食育推進会議	静岡市役所
7月30日（水）	食べるから繋がる（委託事業）会議	WEB
8月3日（日）	第2回県民フォーラム	キラメッセぬまづ
8月5日（火） ～6日（水）	アジア栄養士フォーラム2025 他	大阪関西万博
8月21日（木）	学校健康教育ヒヤリング	WEB
8月23日（土）	元気を見つめる外食活用講座	あざれあ
8月26日（火）	介護予防推進指導者育成研修会 講師と打合せ	WEB
8月27日（水）	公衆衛生事業部ヒヤリング	WEB
8月29日（金）	福祉事業部ヒヤリング	WEB

8月30日(土)～ 31日(日)	東海北陸会長等会議	ホテルグランテラス富 山
9月1日(月)	介護予防推進指導者育成研修会 事前打合せ	WEB
9月2日(火)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にお ける情報交換会(栄養CS説明)	ニッセイ静岡
9月6日(土)	中ブロック研修会	県防災センター
9月7日(日)	介護予防推進指導者育成研修会	WEB
9月14日(日)	総務部総会担当委員会	静栄事務所
9月21日(日)	栄養訪問指導運営委員会・栄養CS部委員会	静栄事務所
9月22日(月)	研究教育事業部ヒアリング	WEB
9月29日(月)	医療事業部ヒアリング	WEB
9月30日(火)	フリーランス・栄養関連企業等事業部ヒアリン グ	WEB
10月2日(木)	三役会議	WEB

3.3. 若林副会長

7月15日(火)	東ブロック打ち合わせ	WEB
7月21日(月)	静栄DAT研修会	クリエイト浜松
7月30日(水)	富士宮市委託事業親子地産地消ツアー準備	富士宮市福祉会館
7月30日(水)	食べるから繋がる(委託事業)会議	WEB
7月31日(木)	富士宮市委託事業親子地産地消ツアー	JA富士宮う宮～な
8月3日(日)	第2回県民栄養フォーラム	きらメッセ沼津
8月7日(木)	東海調理料理コンテスト審査	浜松東海調理師学校
8月15日(金)	スイーツで楽しむ地産地消講座)第1回打合わせ	きらら交流センター
8月21日(木)	学校健康教育ヒヤリング	WEB
8月23日(土)	元気を見つめる外食活用講座	アザレア第1研修室
8月26日(火)	介護予防推進指導者育成研修会 講師への挨拶	WEB
8月27日(水)	公衆衛生事業部ヒヤリング	WEB
8月29日(金)	福祉事業部ヒヤリング	WEB
8月30日(土)～	東海北陸会長等会議	ホテルグランテラス富

ラス富	31日(日)		山
	9月1日(月)	介護予防推進指導者育成研修会 事前打合せ	WEB
	9月2日(火)	令和7年度第1回地域包括ケア推進ネットワーク会議 認知症施策推進部会	静岡県医師会館
	9月7日(日)	介護予防推進指導者育成研修会	WEB
	9月8日(月)	東ブロック研修会打ち合わせ	WEB
	9月10日(水)	研修部打ち合わせ	WEB
	9月12日(金)	スイーツで楽しむ地産地消講座第2回打ち合わせ	きらら交流センター
	9月13日(土)	東ブロック研修会・交流会	日本大学国際関係学部
	9月17日(水)	地区事業部運営委員会	WEB
	9月20日(土)	地区事業部代表者会議	WEB
	9月22日(月)	研究教育事業部ヒアリング	WEB
	9月29日(月)	令和7年度第2回静岡県保険者協議会	サンパレスホテル
	9月29日(月)	医療事業部ヒアリング	WEB
	9月30日(火)	フリーランス栄養関連ヒヤリング	WEB
	10月2日(木)	三役会議	WEB

4. 報告事項

4.1. 医療事業部（太田理事）

- ・ 8/23（土）地区リーダー情報交換会出席
 菊地理事、中村理事、八木理事、渡邊美子理事（主幹事）、太田（県代表者）
 統一議題について、一部の運営委員からも意見を募った（石川、稲野、菅沼委員）。
- ・ 11/16（日）腎友会県民健康セミナー講師派遣依頼（栄養ケアステーションより）
 焼津市立総合病院 松尾紘生氏（野田運営委員よりご推薦）
- ・ 1/20（火）ニューカマーミーティングサポータ推薦
 東海北陸地区からは岐阜県より1名推薦（本県からの最終推薦：令和6年度）

4.2. 公衆衛生事業部(平塚理事)

- ・6/19(木)～11/30(日)の期間中(e-ラーニング含む)
日本栄養士会 公衆衛生専門管理栄養士専門研修 県、市町から3名出席
- ・10/26(日) 東海北陸ブロック VCS会議(戸井口運営委員出席予定)

4.3. 福祉事業部(田森理事)

7/27(日)	eiyou寺子屋①児童編 参加2名	あざれあ
8/3(日)	福祉職域管理栄養士全国リーダー研修会	WEB

4.4. フリーランス・栄養関連企業等事業部(池谷理事)

スポーツ栄養学研修会・交流会

日時 2025年11月29日 土曜日 13時30分～16時45分(受付13時15分から)

会場 BiViキャン

(静岡産業大学 藤枝駅前キャンパス × 藤枝市産学官連携推進センター)

講演① スポーツ栄養学の最新情報

日本大学短期大学部食物栄養学科准教授(管理栄養士・JSPQ公認スポーツ栄養士)

講師 小山 ゆう 氏

講演② スポーツ栄養現場のあるある

フリーランス(管理栄養士・JSPQ公認スポーツ栄養士)

講師 河村 美樹 氏

4.5. 総務部(森下理事)

開催日:2025年9月14日(日)10:00～ 対面 会場:栄養士会事務局 ※議事録添付

1. 2025年度総会の振り返り(課題・良かった点)と、次年度総会の設計(形式・プログラム・日程・会場・賛助会員対応)の方向性整理。

2. アンケートまとめ 共有事項/良かった点

- ・台本(シナリオ)はフリガナ付きで読みやすかった。
- ・照明は事前下見の効果が大きかった。
- ・事務局の事前準備が丁寧でスムーズだった。

3. 課題・改善点(サマリ)

・司会：表彰者名の読み上げ・スライドとの同期。事前に名簿確認、補助者の配置、事前の通しリハの検討。

- ・祝電：長文は読上げより「スライド提示+紙配布」等を検討。
- ・タイムキーパー：照明と兼務は負担が大きい。可能なら2名体制へ。
- ・配信：設営～本番で人手不足。設営専任の増員と当日指示系統の明確化が必要。
- ・Web入室管理：終了後の単位認定リスト送付を手順に明記。
- ・ステージ設営：担当者と「舞台上・席次の配置図（見取り図）」を全員に周知。

それぞれの現場での指示役（司令塔）を置く(受付・ステージや座席設営・配信・進行等)

- ・受付：機材操作の事前トレーニングが必要。4人体制が必要か人員検討する。
- ・昼食会場：手狭だったため大きめの部屋確保を検討。
- ・賛助会員対応：当日の動線・飲食可否・注意事項を記載した紙の作成・配布。展示内容の魅力強化と案内タイミング改善（開始前やランチ時間）。

次回は「日程・会場レイアウト案・役割分担ドラフト」の合意形成を主議題とし、理事会の枠内で短時間の読み合わせリハも実施検討。

4.6. 研修部（八木理事）

- ・会員へのアンケートを実施したので報告する。
- ・manaable操作説明会に参加した。
今後、研修会の開催通知とmanaableの項目を一致させる必要がある。

4.7. 地区事業部(稲葉理事)

9月17日運営委員会開催

9月20日第2回代表者会議開催 別紙資料参照

山崎理事より説明

地区代表者は10月以降に栄養士会Googleファイルサーバーの活用各地区で情報交換等もできるよう説明も行った

4.8. 栄養ケア・ステーション部(杉山智理事)

①職業紹介事業

- ・4月以降の新規求人：15件、求職者数：6名、紹介件数：1件、採用者：1名

②栄養ケア・ステーション事業

- ・栄養ケア・ステーション業務依頼件数 183件
- ・栄養ケア・ステーション登録者数 150名（158名登録-8名退会）
- ・認定栄養ケア・ステーション事業所数 18事業所

(認定数：21事業所 →撤回：2事業所 →休止：1事業所)

・2025年9月1日～認定の新規認定栄養ケア・ステーション

★認定栄養ケア・ステーションみかんの花（静岡市）

★わくだ歯科食べる機能をささえる認定栄養ケア・ステーション（浜松市）

★認定栄養ケア・ステーション可美（KAMI）～Hand in Hand～（浜松市）

③静岡市静岡医師会定例会議

日時：2025年7月15日（火）19:15～20:15

場所：静岡市静岡医師会館 2階会議室

出席者：新井英一会長、久保田美保子副会長、森田久美子しずおか病態栄養士の会、事務局

内容：2024年度しずおか病態栄養士の会における栄養食事指導の報告

診療所における管理栄養士求人・業務委託契約の現状報告

2025年度 第9回 合同研修会について協議

④静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会 参加者募集中

日時：2025年11月18日（火）19:15～21:00

場所：静岡市静岡医師会館 3階講堂（WEB参加も可）

演題：①「管理栄養士にできること」栄養士会理事 栗原理江 氏

演題：②「健康増進・疾病予防におけるビタミンの役割」

静岡県立総合病院リサーチサポートセンター臨床研究部長

（2025年版日本人の食事摂取基準策定委員会 委員）

田中清 先生

申込締切：11月11日（火）※案内はホームページに掲載中（資料参照）

⑤「5 A DAY食育体験プログラム」講師研修会（WEB開催）

日時：2025年8月27日（水）・2025年8月28日（木）9:30～11:30

参加者：各日5名 計10名（栄養CS登録者へメールにて案内のうえ希望者が参加）

⑥栄養ケア・ステーション訪問栄養食事指導運営委員会

日時：2025年9月21日（日）10:00～13:20

会場：静岡県栄養士会事務所

参加者：栄養ケア・ステーション部理事4名、運営委員3名、事務局 計8名

内容：リーガルチェックにより指摘された様式の修正

業務委託契約による居宅療養管理指導1号の報告

訪問栄養食事指導の流れ（フロー）作成

⑦栄養ケア・ステーション部会議

日時：2025年9月21日（日）13:30～15:20

会場：静岡県栄養士会事務所

参加者：杉山智子部長・栗原理江副部長・杉山清子理事・久保田美保子副会長・事務局

内容：栄養ケア・ステーション研修会・交流会の打合せ

今後の課題と2026年度事業計画について

- ・訪問栄養食事指導運営委員会の継続
- ・栄養ケア・ステーション業務を認定栄養ケア・ステーションに依頼する方法
- ・診療所向けチラシの作成

4.9. 静栄DAT（中村理事）

令和7年7月21日（月・祝）2025年静栄DATスタッフ育成研修・第3回静栄DAT運営委員

令和7年8月9日（土）磐田市副詞部会 健康推進支援委員会 中泉地区地域づくり協議会からの

依頼 演題名：「令和6年能登半島地震日本栄養士会災害支援チーム
JDA-DAT支援地無は嫌悪経験からの経験から学ぶ～
災害に知っておくと便利な栄養」

令和7年9月17日（水）令和7年度静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練 第2回全体会議

余談ですが令和7年10月4日（土）第9回地域包括と栄養を考える会in浜松

令和7年10月12.13日（日・月祝）第9回リーダースキルアップ研修 場所：愛知県

令和7年10月15日（水）県健康福祉部防災訓練（保健医療福祉調整会議訓練）出席者：菊地・中村

令和7年10月19日（日）令和7年度静岡県・焼津市・藤枝市・総合防災訓練

場所：焼津市立大富小学校

参加者：磯村リーダー・池谷理事・安倍事務局長・中村

4.10. 学術（県民フォーラム）（青島理事）

開催日時：令和7年8月3日

開催場所：ふじのくに千本松フォーラム コンベンションぬまづ

参加者数：151名（その他演者3名）（申し込み 190名）

添付資料 アンケート

令和8年度の実施に関するご意見フォームを作成予定につきご協力ください。

4.11. 受託事業

4.11.1. 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業業務委託（池谷理事）

4.11.1.1. 研修事業

8月26日 ZOOM 9月7日の配信テスト

9月1日 ZOOM 研修会事前打ち合わせ

9月7日 12：00～事前配信テスト・最終打ち合わせ

1：30～ 研修会 参加者 46名

9月16日 9月7日 オンデマンド研修

9/25日現在 申込者 23名

申込期間 9月16日～28日まで
受講期間 10月1日～31日まで
12月7日 研修会 9/18日現在申込数 46人(申込受付中)
講師 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
本川 佳子氏
事例発表 公益社団法人東京都栄養士会
常務理事 上野 俊 氏

4.11.1.2. 通いの場

沼津市 契約期間外 7件
契約期間 9件
富士市 契約期間 18件
西伊豆 契約期間 3件
御殿場 契約期間外 1件

4.11.2. 富士宮市食文化推進プロジェクト事業業務委託(若林副会長)

※7月31日 親子地産地消ツアー 10時～12時 JA富士宮 う宮～な
参加者 親子10組 25名 アンケート結果別紙 資料参照
※10月29日 スイーツで楽しむ地産地消講座 10時～12時 きらら交流センター
富士宮市広報誌にて10月に募集 30名

4.11.3. 元気を見つめる外食活用推進事業(白石理事)

・8月23日 高校生対象「健康な食事」について考える講座 講師養成研修会
13:30～16:00 あざれあ 第1研修室
講演:「健康な食事」を高校生に伝えるコツ 常葉大学 野末みほ 氏
事業実施説明: 白石理事
担当講師、助手の決定 参加会員 18名
(→9/24、10/3…などから、県内公立12高校にて、講座が順次開催予定)

4.11.4. 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業(杉山清理事)

- ・7月30日「食べるから繋がる地域包括ケア推進業務」打ち合わせ
- ・県主催の研修会での講演 栄養ケア・ステーションの周知 杉山理事
- ・8月22日 新任者研修会 杉山理事
- ・9月 2日 広域連合 久保田副会長
- ・9月25日 県歯科医師会 栗原理事
- ・関係団体へ栄養ケア・ステーションの周知、在宅訪問栄養指導モデル事業依頼

- ・7月16日 三島市医師会長、県医師会理事 新井会長、杉山理事
- ・7月21,24日 浜松市内クリニック 新井会長、久保田副会長、柴原理事
- ・9月25日 静岡市内クリニック 新井会長、柴原理事

4.12. その他

4.12.1. 日本栄養士会会長表彰（25年、50年、栄養橋寿会員）

50年会長表彰 3名、25年会長表彰 50名、栄養橋寿会員 2名の受賞が決定したが、25年会長表彰 1名辞退者があった。10月24日全国栄養改善大会にて表彰予定。

4.12.2. 令和7年度栄養関係功労者の厚生労働大臣表彰

栄養指導業務功労者に湯山純子さんの受賞が決定した。
10月24日全国栄養改善大会にて表彰予定。

4.12.3. アジア栄養士フォーラム2025、未来の食のシンポジウム

2025年8月5日（水）10:00～18:30 大阪・関西万博リボーンステージ

出席：久保田副会長、田森理事

*「未来の食材50」を使用した「未来に残すべき和食」

8月3日（日）～8月9日（日）まで万博会場大阪ヘルスケアパビリオンに展示された。

静岡県：駿河そば（茶そば&桜えびかき揚げ）詳細は日栄雑誌やHPで公開

4.17.4 イベント出展依頼について

8月下旬静岡市七間町コミュニティプラザの担当者から下記内容のイベント出展依頼があったが（今年初めての開催）三役で検討今年度は予算外であり出展しないこととした。

「だれでもスポーツ×みんなの防災」 日時：10月13日（月・祝）9:00～13:00

開催場所：清水蛇塚スポーツグラウンド 依頼内容：防災についての展示（販売等）

出展料は1企業3万円（企業以外は必ず支払いではない）3m×3mスペース

5. 協議事項

5.1. 2026年度予算編成について（若林事業部長、久保田総務部長）

事業計画および予算申請締切：11月20日（木）までに三役と事務局長あてにメールで提出

*表題：事業計画・予算申請（〇〇事業部、専門部等）

*地区は 11月2日（日）までに地区部長に提出

*メール文面：①予算変更の有無（有・無） ②事業計画の説明（主に新規、増額、変更点を明確に）

5.1.1. 事業計画と事業編成について (若林事業部長)

今後の栄養士の事業の在り方、また研修の在り方について検討していただき、各事業部は会員の希望する研修とは何か交流会として何が出来るかを考えていただき、それに応えられるような事業計画を企画提案してほしい。また専門部もそれぞれの事業を実施するにあたり目的を達成できるよう工夫をしてほしい。

(会長より) 職域を横断して研修会の企画をするのが本来の在り方。職域の課題、日栄の課題、県内の会員の意見を反映させて各職域で議論し、必要な研修を企画していただきたい。次期の理事、運営委員も入ってほしい。不明な点は三役に相談を。

5.1.2. 事業計画および予算の申請について(久保田総務部長)

予算申請締切：11月20日(木)までに三役と事務局長あてにメールで提出(厳守)

12月3日(水)までに必要に応じて確認メールでヒアリング実施

来年度の計画は新理事に引継がれる為、内容が誰でもわかるように書類に抜けがないように詳細を記入すること。同時に引継ぎ書類として整理しておくように。

5.2. 理事任期満了に伴う役員改選について (新井会長)

5.2.1. 次期理事数について

定数：17~25名 監事(4年任期のため今回は改選なし)

現在、理事25名：代表理事3名、理事22名

理事数(代表理事) 2024~2025	医療 6(1)	学校 2	研究 2(1)	公衆 2	福祉 3	フ栄 7(1)		計 22(3)
会員数 2025.9.28	医療 551	学校 71	研究 42	公衆 121	福祉 303	フ栄 273		計 1,361
会員数 2023.10.10	医療 547	学校 84	研究 45	公衆 109	福祉 342	地域 213	勤労 54	計 1,394

- ・現在の会員1,330人。未納者は80人弱おり、1,200人台に突入しようとしている(1,290~1,310あたりか)。現会員数に応じた理事をおくことが理想であるが、難しい。最低2人は必要。福祉3人、フリーランス7人については、人数の見直し必要か。事業は多岐にわたる。
- ・代議員は、1,400人いた時は7人、現在6人。
- ・学校：現状維持/研究：1でもよいか。後日検討、公衆：現状維持。政令市の方にも担ってもらえるよう考えていきたい。/フリーランス：委託事業の分担方法を変えて理事への負担は増えて

いるが、委託事業次第では必要人数が変わる。10/7の運営委員会で人数についても協議する。
現在の理事のうち3人からは次年度退任希望がある。／医療：当面は6人。現在は年1回の研修実施。専門事業部長や全国の役員をしている方がほとんどで、負担もあるか。運営委員も含めて事業を増やすこと等検討したい。→フリーランスは後日連絡

(会長より) 事業計画と連動する。研修の希望があれば三役にあげてもらい、整理して指示を出したい。ヒアリングで、会員のためにどのような研修を実施したいかも確認した。職域の理事として、会員のために何ができるのか。そのために実施する内容によって職域理事の人数が変わってくる。職域が横断的にやらなければいけないものもある。専門部が企画するものと、職域の研修を整理していきたい。人数的には減らさなければいけないかと考えている。

5.2.2. 日本栄養士会代議員数について

現在6名+補欠1名

日本栄養士会代議員数は定款により250名と定められている。
各県の代議員数は、2名に、前年度末の会員数に応じた数名が加わる人数となる。

5.2.3. 選挙管理委員会の立ち上げおよび役員改選スケジュール

・選挙管理委員の任命について(10月末任期満了)

現在：奈良和幸委員長(医療)、大橋路代委員(フ栄)

清水洋子委員(フ栄)、山内裕子委員(福祉)

※選挙管理者(立会人)

現在：小林栄美(医療)、石川知美(医療)

11月4日16時～ 第1回選挙管理委員会 選挙管理委員は全員留任

5.3. 2026年度定時総会の日程について

現在、2026年5月30日(土)と6月6日(土)にあざれあ大ホールを予約している。

日栄総会は6月20・21日の予定(日栄に確認)です。

今年の総会準備で5月開催の場合について検討しましたが、決算監査、4月理事会のスケジュール、議決権行使数(はがき到着数)を考慮すると厳しい。

5月開催の根拠とした、

(日栄定款施行規則第7条6項)

「日栄定時総会の15日前までに代議員を選出するよう努めなければならない」

文言について、日栄に確認したところ、口頭で「努力義務」との回答をいただいた。

併せて「県栄の都合で開催日を決定して構わない」とのことであった。

ただし、日栄総会案内送付先が期日までに決まらないので、県栄に全員分を送って県栄から代議員に送付していただくようになるかもしれない、とのこと。

開催日について、協議いただきたい。

→次年度は6月6日(土)開催とする。

5.4. 総務部（森下理事）

次年度の定時総会の方向性

従来の講演会を形式ではなく、交流会・情報交換会・ワークショップ(学びやアイデア創出の場)を中心とした形式で進めていきたいと考えている。ご意見を伺いたい。

交流会の進め方

- ・近隣・市町村ごとに地域分けでグループ作成、テーマを設定して討論会形式で実施。
- ・ファシリテーター配置。議事録の正式作成は行わず、フセンを活用し書記が進行内容を可視化する方式を検討。

使用会場について

- ・5階会議室を2部屋使用できれば、小会議室の使用は不要ではないか。(栄養士大会の運用を参考)
- ・5階会議室にて昼食。昼食後そのままワークショップ・交流会を実施。
- ・同室に賛助会員展示ブースも設置→情報交換や交流会を実施。賛助会員も巻き込んで情報交換もあり

(稲葉理事) ワークショップとなった場合はどのようなタイムスケジュールを想定しているか？

→(森下理事) AMは従来どおり、昼食を会議室2部屋でとり、グループごとに話をしてはどうかと考えている。賛助会員もその会場に来てもらう。アンケートでは県の方針を聞きたいという声も多いので、県の特別講演は継続。

(太田理事) 栄養士大会では他の部屋で実施したところあざれあから苦情があったので、実施するなら同じ会場がよいのではないか。

(森下理事) P11のスケジュールは参考。R6は昼食会場が狭かったため、みんなで昼食を食べ、賛助会員も巻き込んだ交流会ができればよいかと考えている。

(会長) 総会は総会として運営した方がよい。スタンプラリー等楽しい企画も考えていただいているが、栄養士大会と重複する。総会は形式どおり、これまでのような講演会とする方がよいのでは

ないか。会員は賛助会員のブースにあまり行っていない。交流会と同じフロアに賛助会員の展示があっても、会員はブースに行かない可能性がある。総会に人数が集まらないことが大きな課題であり、著名な先生に来ていただくことで出席者が増えるか。交流会で人集めができるという算段があるのなら変更もよいか。考えていただいた企画は今後の参考になる。

(篠原理事) 来年度、栄養士大会を実施しないのであれば、この形でもよいのでは。

→ (若林副会長) 栄養士大会のアンケートでは交流会が楽しかったと好評だった。学術部の負担も大きいですが、今の形で継続していけるとよい。

(会長) 大会で演題をたくさん集めるのは大変で、交流会だけでもよいのかと思うが、話題提供が数題あるとよい。学会だとハードル高い方のために大会を設置したのが当初の目的。専門部との解体とも関連する。

(山崎理事) 栄養士会、総会それぞれで交流会があってもよいと思う。形式どおりの総会もよいが、参加者が減っており、今までの方法と変える必要はあるか。DATの活動発表、能登の講演を聞き、非常時には顔が見える関係があるとよいという流れはある。交流会は地域ごとにやる方がよいかと。会のお墨付きの地域連携会員を設置し、同意を得た人のみの連絡網を作ると、会員のメリットができるか。

(白石理事) 広い地域で交流しても意味が薄く、狭い地域で行う方がよい。

(久保田副会長) 半日開催の希望もあり、できなくはないが何かを削らなければならない。講演の検討もしたが範囲が広すぎて絞りにくかった。特別講演ではなく別の企画をする等考えていきたい。会場移動が大変だということは承知している。今の状況を変えるため、新しい提案をした。

(新井会長) 役員改選のタイミングが重なることにも難しさがある。

(森下理事) 行かなければならない状況だったり、メリットがないと参加してもらえないか。Webで見ることができないと、参加者が減ることもデメリット。

(池谷理事) ハイブリッド開催を考えているか？

→ (森下理事、若林副会長) R6は会場95人、Web28人。表彰される方が多かった影響もあるか。R7は表彰者は多くはない。

(篠原理事) 全てWebにしてはどうか。

→ (新井会長) 連盟、賛助会員との関係もあり難しいか。

【結論】

- ・2026は従来通りの特別講演を含む開催方式とする。

- ・浜松市の地域包括と栄養を考える会（奥村仙示（ひさみ）氏）で聞いた話が面白かった。3Dプリンターで食品再現、エネルギー密度、高齢者の食事の考え方等。→新井会長から打診。

5.5. 研修部（八木理事）

- ・来年度のブロック研修会の継続開催について、地区事業部代表者会議にて協議した。今後の研修会の運用について協議したい。

→（白石理事）ブロック研修会、地区の交流会等見直しているところであり、地区事業部の在り方と重なってくる。

（若林副会長）会員同士の交流、非会員の入会を（主流）目的とする方向で、在り方を検討している。

5.6. 学術部(大塚理事)

- ・栄養士大会運営スケジュールと開催案内について
- ・理事にはなるべく出席いただきたい。演題が少なくなり時間が繰り上がる。
- ・現時点で、提出予定があるのは2演題。（研究、医療）
- ・開催通知案のとおり通知の手続きを進める。

5.7. 地区事業部(稲葉理事)

1.会計収支報告書の修正について

「研修会の担当者として旅費を支払うのが5名まで」であるため、赤字部分を修正する。

→2026年度事業からとする。

- ・ 収支報告書の講師料について確認と見直しが必要か

→ブロック研修では大学教授は30,000円、ただし静栄会員は10,000円となっているがどう考えるか。地区事業部は上限10,000円。

→講演を受けてもらう時の主な肩書に合わせればよいのではないか。

→栄養士会

2.地区勉強会・交流会における講師謝金の取扱いについて

勉強会のみ（90分講話）：講師謝金1万円支払いは従来どおり。

勉強会60分＋交流会60分のように、講師が最後まで参加する場合の謝金額について

①各地区の判断にゆだねて申請②一定の金額を地区事業部であらかじめ設定

→ どちらとするかを理事会で協議する。

（三役会議より）非会員に4,000円負担で参加してもらうのは難しい。地区の勉強会は交流会も兼ねているので、非会員は無料で交流会に参加いただいてもよいか。入会につながるようにする。負担なしで参加が続く非会員については引継ぎ、入会を促す必要がある。

講師料は細かく割るのではなく、拘束時間で規定通りお支払いの方がよいか。複数人に依頼する場合、30分ずつ2人なら5,000円/人、20分ずつ3人なら3,000円/人など。端数はクオカードで支払うケースもある。クオカードの規定はない。

(池谷理事) 著名な先生を呼ぶ場合、参加者からプラス料金を徴収してはどうか。

→ (新井会長) 現在もその方式でよいとされているが明文化されていないので、地区ごとに判断に迷うのではないか。著名かどうかの線引きも難しい。R8からのルールを明確にする必要がある。

(太田理事) 中部地区では2人に45分ずつお願いして5,000円ずつお支払いしたが、拘束時間や準備時間も考えると申し訳なかった。増額を要求するわけではないが、金額の根拠を明確にする方がよい。何人までの方にお支払いするかも議論が必要。

(稲葉理事) 東伊豆・賀茂では4人に登壇してもらい、事例発表してもらった。報償費なしでお願いしたが、クオカード2,500円/人をお渡した。講師料ではなく会議費で支出した。

(若林副会長) 事例発表をお願いする場合も考慮が必要。講演だと難しいが短い時間の事例発表は受けてもらえることもある。

(山崎理事) 現状では金額には見合っていない、足りていないと思う。増額を検討する方がよいか。直接の金銭的なメリットではないが、企業や個人のPR、ブランディングにつながることもあり、付加価値と捉えてもらえる場合もあるか。

(新井会長) 1人でも15分で2,500円

9地区、3ブロックがあり、それぞれで研修会が動いている。地区事業は研修というより勉強会、交流会と考えており、10,000円を必要に応じて活用してもらえばよい。

(白石理事) 勉強会の形でも10,000円支出してよいのか。地区の温度差をなくしたい。

(新井会長) 90分研修会で話せば講師。勉強会でも同じ形で

(若林副会長) 研修会以外でも講師料が発生するのならお支払いしてよい。1人あたりの金額は細かすぎない方がよい。勉強会・交流会でも拘束時間は120分。

→ 「①の各地区の判断に委ねる」ただし、依頼するのは1~4人まで。上限は10,000円。

地区事業部としては、講師料ではなく、会議費として現金以外(クオカード等)をお渡しすることも可能であることを明文化する。

【結論】

・「地区事業で実施する研修会(90分)、勉強会(60分)においては、講師料は上限10,000円で、事例発表などで複数人(2人以上)が担当する場合、その額を講師料ではなく渉外費で申請する。(渉外費の場合も、上限は10,000円)(資料35P)

・R8年度以降、地区研修・ブロック研修においては、非会員の場合、研修会(黄色マーカーの部分削除(研修会・交流会))に初めて参加する場合は、参加費無料とする。申し込み時に確認。

本人申告による。

・地区支出の科目振り分けは、下の欄は削除し講師料は計10,000円を記載。

・ブロック研修の科目振り分けシート追加。表は地区支出と同じ、下の欄は最初の2行のみとする。

3. ブロック研修会・交流会の開催方針

研修部では交流会についての記載あり。

地区としては「ブロック研修会・交流会の申請を検討する」か

交流会を各地区開催に移行するか

研修会のみでも可とするか

ブロック研修会そのものを廃止するか。→これらの開催方針について理事会で協議する。

→（東）ブロック研修会では交流は行わなくてよいか。

（西）特別な理由がなければ、ブロック研修の交流を中止にする予定はない。地区研修の中で交流が積極的にできているのなら、今後検討することもあるか。

（中）まだ決まっていない。

ブロック研修の交流会は一律に中止するのではなく、状況に合わせて開催。研修会案内では、参加する非会員は4,000円負担を明記。交流会を行なうブロックのみ理事の分の予算がつく。

4. 事業計画・予算申請の提出期限

9月20日の代表者会議の議事録および理事会次第に基づき、

地区事業部からの提出期限：11月2日

事務局への提出目安：11月20日

5.8. 健康づくり提唱のつどい（田森理事）

スケジュール・役割分担の最終確認

・担当者は当日10：00集合。看板等変更もある。会員受付のバーコードリーダーは不要。アンケートと講演以外の時間に流すスライドも担当者が作成する。受付後、小ホールにおけるヤクルトの試飲に誘導。座席確保後でもよいが、講演直前は小ホールの後に会場に行ってもらよう案内。

・現在80人くらいの申し込み。引き続き、周りの方に声掛けしていただきたい。

6. 承認事項

6.1. 新入会員の承認について（久保田総務部長）

→承認された。

6.2. 2025年度月別研修予定一覧表（研修部、八木理事）

6.3. 栄養ケア・ステーション部(杉山智理事)

訪問栄養食事指導運営委員会作成の書式訂正について承認いただきたい

・静訪-3 担当者決定通知（資料参照）

・ 静訪-7 栄養ケア計画書・報告書（資料参照）

→承認された。

6.4. 在宅介護者の食生活支援研修会について(田森理事)

日時：11/16（日）

場所：クリエート浜松

・ 西部の理事の方には周知への協力をお願いしたい。

→承認された。

6.5. 事務局員の時給変更について

8月26日に静岡県最低賃金の改正答申について、記者発表がありました。

静岡県最低賃金は発行日11月1日より、63円引き上げられ、1,097円になります。

開始時期は都道府県によって異なり(10月～3月)、静岡県は11月1日から適用される。

最低賃金に満たない時給の事務局員について、11月からの時給引き上げについて、三役会議で1,100円と決めたので、承認いただきたい。

→承認された。

6.6. 事務局Microsoft Officeのアップグレードについて

事務局のPC 6 台のうち 5 台でOffice2019のサポート期限が10月14日に迫っており、買い替えが必要なため、購入について承認頂きたい。

買い切りの場合 2 アカウントで約 4 万円で、今年度約 12 万円の出費となる。

他の選択肢としてサブスク、Microsoft 365の導入があり、1年27,400円（2740円/月）（Microsoft 365 Family）で使用する方法が考えられる。

Microsoft 365 Familyについて

（メリット）

最大6ユーザー、それぞれが最大5台まで同時にオフィス等を利用できるので、1台あたりのオフィスの価格が格安となる。Officeの利用はもちろん、1TBのクラウドストレージ（OneDrive）、AI機能（Copilot）など、ビジネスに必要な機能が揃っている。サブスクリプションの契約が続く限り、Office製品の永久サポートが受けられる。

（デメリット）

法人向けプランで利用できる Microsoft 管理センター のようなユーザー管理機能がなく、それぞれのアカウントを個別に管理する必要がある。現在は商用利用が認められている（非商用に限定されてる機能もある）が、Microsoftの方針変更により将来的に制限される可能性がある。

→ (山崎理事) 買い切りかサブスクか。サブスクは非営利団体職員向け価格494円/ユーザー/月。5台分を2029年10月9日まで使う前提でコストを計算すると、買い切りは131,940円、一般のサブスクは515,250円、非営利のサブスクは123,500円。非営利のサブスクは8,440円安い。手続きが煩雑、管理が複雑になる可能性がある。端末認証があるとPCを変える場合に手間がかかるか。総合的に考えると買い切りがよいか。

→買い切りとする。

6.7. ゆうちょBizダイレクト振替口座の新規開設について

6月からゆうちょBizダイレクトの月額手数料が1100円から2200円に値上げされたが、会費の自動引落し(伝送サービス)を行うにはゆうちょBizダイレクトを契約し続ける必要がある。

ゆうちょ銀行より、使っていない機能(総合振込と給与振込)を利用して現状より手数料にかかる金額を減らす、出金の手間を減らす方法の提案があった。

給与締め日、支給日については引き続き検討が必要で、来年度から開始することを想定しているが、口座開設に3か月程度の時間がかかるため、ご承認いただきたい。

(現在の利用)

総合口座：事業資金の入出金。委託事業、CSなどの謝金支払い、請求書の支払い。

多くの件数を振込むと合算されるため、途中で記帳に出向くことがある。

振替口座：会費用(会員、賛助会員、ゆうちょ払込取扱票、自動引き落としの口座)

(提案)

振替口座2：給与振込、総合振込(委託事業やCSなどの謝金振込用(請求書支払い))

(メリット)

総合口座だと1件ずつ振り込まなくてはならないが、総合振込、給与振込はデータをまとめて送ることができ、事務作業時間が減る。

給与振込は手数料無料、謝金振込はゆうちょ銀行口座への手数料が1件当たり現行100円から66円に下がります。(他行宛は165円で変わらない。)

会計伝票の分類を増やす必要があるが、作成する伝票の総数は変わらない。

多くの件数(15件以上)を振込む場合でも記帳に行く必要がなくなる。

(デメリット)

振込額と手数料を合わせた金額を総合口座から振替口座に移す必要がある。手数料を掛けないために伝馬町郵便局へ出向く必要がある。前もってデータを送る、入金する必要があるため、伝票提出期限を早める必要がある。事務のルール(給与締め日、支給日等)を変える必要がある。

→承認された。

6.8. 東海北陸会長会議

- ・ R7は8/30～8/31富山県で開催。次年度、静岡県が当番県。

会の運営、他県および日栄との調整において、業務が煩雑であること、担当県の負担が増えているため、開催方式を見直すことになり、来年度以降は愛知県で開催することとなった。R8は8/22に名古屋学芸大学 看護学部キャンパス（名城前医療キャンパス）で開催予定。宿泊、意見交換会の場の手配、お弁当や会議で提供する飲み物などを参加者が各自持参してもらう等、簡略化を図る。
→承認された。

6.9. 定款変更について

・ 公益法人制度改正に伴い、令和7年4月以降の役員改選から外部監事を設置しなければならないことが義務付けられた。現在、当会において、監事は4年任期の2年目と任期途中であるため（鈴木監事、水嶋監事とも）、外部監事の設置が2028年度になる。外部監事は公益法人化後の平成25年度まで設置していたため、定款変更の必要はない。監事への報酬支払が発生する可能性があるため、外部監事を置くまでに役員報酬規程の総会決議が必要となる（通常決議）。外部理事について、現在は適用除外であるが、必置の場合を見据えて定款を整備しておきたいところである。。

・ 総会は総社員（会員）の議決権の過半数で成立する（通常決議）が、定款変更の承認には、総社員（会員）の議決権の3分の2以上を必要とする（特別決議）。他の栄養士会では総会前月末の日本栄養士会会員数を母数として運営をしていることを参考に、当会でも対応を検討したい。

・ 上記に併せて、財務諸表の変更、定期提出書類（備え置き書類）の変更、情報公開の追加、および外部理事を規定などに対応する必要があります。定款変更は何度も実施される事項ではないため、この機会に定款変更すべき項目があれば、12月の理事会までに挙げていただきたい。三役および事務局では、上記の電磁的方法（コンピューターを使った）による議決権行使、理事会の決議の省略（理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案につき理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をし、かつ、監事が当該提案について異議を述べなかったときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすことができるという制度）などを視野に入れて、準備を進めたい。

→検討を進めることで承認された。

6.10. ロゴマーク作成

・ 静岡県栄養士会のロゴマークの作成において、費用などがかかることを踏まえ、新井会長より生成AIを利用したロゴの作成について提案があった。生成AIは、それぞれの検索などの学習をもとに生成されるため、理事が各自で作成したものを持ち寄り、候補を絞る意見が挙げられた。12月の理事会で持ち寄り、協議することとなった。

→承認された。

6.11. 議案書を含めた機関誌の作成

・新井会長より、他県栄養士会を参考に、総会の議案書と併せた機関誌の作成（1冊にまとめた）についての提案があった。機関誌の内容については、研修会の案内や新入会員の紹介、会員が執筆した本の紹介や会員が活躍した活動など、県栄会員の活動をアピールする情報誌として、企画案が提案された。現在、各事業部の次年度計画を企画していただいているため、専門部で対応するのは難しいと判断し、2026年度版を新井会長が企画、準備する。次年度以降について、専門部の業務の再検討、再編を行い、対応することが提案された。

→承認された。

7. 連絡事項

7.1. 会員への通知発送について

12月13日(土)第5回理事会後、次年度会費納入依頼通知発送予定

12月19日(金)には発送したいので、15日(月)原稿×切予定

1月中旬 次期役員選挙公示の通知

2月中旬 選挙公報の通知

7.2. 公益法人点検調査について

3年ごとの県の立ち入り検査日程が11月11日午後に決定した。

静岡県法務文書課、健康増進課が確認に訪れ、三役、監事、会計事務所、事務局が対応する。

公益法人制度改正に伴い、立入検査が点検検査と重点検査の2種類になった。

今回受ける点検検査は新たに事前準備（チェックシートの記入）が必要だが、所要時間は半日（2~3時間）に短縮される。

8. 確認事項

8.1. 行事日程の確認について

8.2. その他

・広報部長より10月31日締め切りの栄養士のおすすめメニューの申し込み件数が0件なのでご協力願いたい。

本日のZOOM（WEB会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

新井 英一
久保田 美保子
若林 恭子
小栗 美樹子
大塚 美和子
平塚 歩実
稲葉 由美
篠原 啓子
小川 ももこ
池谷 広美
森下 知代
白石 明子
青島 千恵
山崎 靖晃
杉山 清子
太田 紘之
渡邊 美子
渡邊 潤
中村 朱美
菊地 しおり
田森 稔浩
杉山 智子
松井 温子

出席監事

水嶋 美穂子

議事録作成者 大塚 美和子

議事録作成者 平塚 歩実

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2025年10月5日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 爽一 

副会長 若林 恭子 

副会長 久保田 美保子 

監事 水嶋 美穂子 







